



2020年10月23日

JR東日本 仙台支社

会津の新作駅弁を快速列車で運びます

JR東日本仙台支社「会津若松エリアプロジェクト」では、2020年2月から株式会社 福豆屋と連携した新作駅弁の開発を進めておりましたが、この度、会津の生産者の想いを紡ぎ、地元素材をふんだんに使用した「わっぱめし」が完成しました。この駅弁を、在来線快速列車で会津若松駅へ毎日運び販売します。駅弁を在来線で運ぶ取り組みは、当社管内では初めてとなります。

1 駅弁概要

- (1) 販売開始日 2020年10月31日(土)
- (2) 製造会社 株式会社 福豆屋
- (3) 名称 会津を紡ぐ わっぱめし
- (4) 価格 1,000円(税込)
- (5) 販売箇所 郡山駅(福豆屋 郡山店及び新幹線上りホーム売店)
会津若松駅(NewDays KIOSK、NewDays)
- (6) 特徴 会津若松エリアプロジェクトと株式会社 福豆屋が共同開発した新作駅弁です。
会津コシヒカリや会津地鶏など、地域自慢の食材を1つの「わっぱ」にぎっしりと詰めました。また、掛け紙には会津木綿をイメージしたデザインを使用しました。
- (7) 購入特典 先着購入100名様に会津木綿のコースターをプレゼント



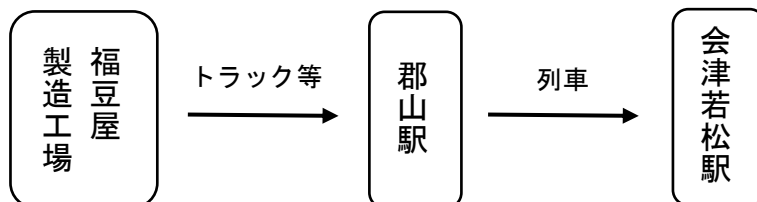
駅弁(イメージ)



コースター(イメージ)

2 快速列車による駅弁輸送の概要

- (1) 区間 磐越西線 郡山駅～会津若松駅間
- (2) 列車 郡山駅（8時29分発）－ 会津若松駅行（9時40分着）
- (3) 開始日 2020年10月31日（土）
- (4) 輸送の流れ



JR東日本仙台支社「会津若松エリアプロジェクト」とは

2019年12月1日に、福島県会津地域の盛り上げや観光活性化を目的とした「会津若松エリアプロジェクト」が発足し、企画部門（支社など）と現業機関（駅や乗務員区など）の社員が系統を超えて相互に交流を図り、地域の特性を活かした施策を企画・実施しています。

JR東日本仙台支社では、2019年3月に福島県、会津若松市と「会津若松駅前広場の整備等を起点とした会津地域の観光振興等に関する包括連携協定」（以下、包括連携協定）を締結しており、「会津若松エリアプロジェクト」では、情報発信やリピーター獲得に向けて取り組みなどを実施し、包括連携協定を基盤とした会津地域の活性化に取り組んでいます。